

株式会社和光輸送による運行の経緯

- 和光市内循環バスの見直し検討（令和4年4月～）
- 新たな運行計画の概要決定（令和5年3月）
- 新たな運行経路の運行事業者の選考（令和5年4月～5月）
- 運行事業者を(株)和光輸送とすることを承認（令和5年6月）
- 道路運送法第21条に基づく実証運行の認可（令和5年12月）
- 実証運行による運行開始（令和6年1月4日）
- 実証運行による運行継続（令和7年1月4日）

本日の検討事項

- (株)和光輸送が運行する路線（白子・吹上コース、坂下・新倉コース）は道路運送法第21条に基づく、実証運行となっている。
- 現在の実証運行の認可期間は1年間（令和7年1月4日～令和8年1月3日）となっている。
- 次期間の運行継続に際して、「実証運行の継続」か「本格運行への移行」のどちらかを選択する必要がある。
- 当該会議において、現状の運行実績及び課題等を考慮し、令和8年1月以降の運行の在り方を検討する。

株式会社和光輸送による運行の概要

- 運行路線 白子・吹上コース／坂下・新倉コース
- 運行日 年末年始を除く毎日（運休日：12/29～1/3）
- 運行車両

日野ポンチョ（定員36名）

※白子・吹上コースを運行



トヨタハイエース（定員11名）

※坂下・新倉コースを運行



運行見直し後の実績（和光輸送運行路線分）

■ 令和6年（市内循環バス利用者数／単位：人）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
白子吹上	1,560	1,623	2,084	2,129	2,294	2,291	2,949	2,851	2,593	2,740	2,363	2,186
坂下新倉	976	1,102	1,372	1,532	1,560	1,682	1,982	1,919	1,898	1,947	1,701	1,643

■ 令和7年（市内循環バス利用者数／単位：人）

	1月	2月	3月	4月	5月
白子吹上	2,317	2,202	2,544	2,466	2,573
坂下新倉	1,465	1,564	1,648	1,680	1,708

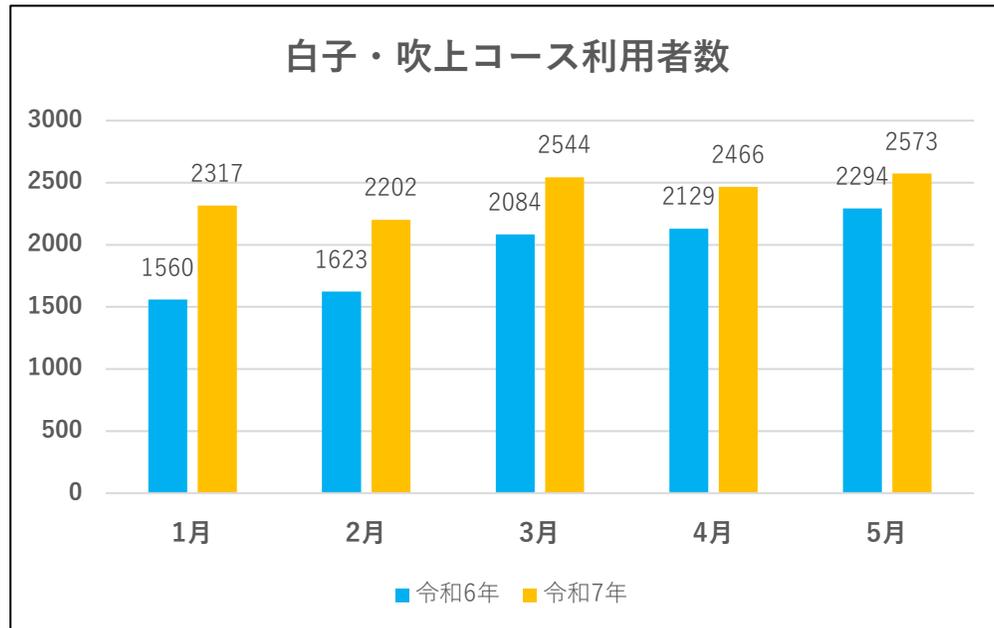
- 令和6年1月の運行直後から各路線とも利用者は少しずつ増加傾向にある。
- 9月以降の利用者は減少傾向だが、気温低下に併せて利用者が減る傾向は他路線も共通となっている。
- 令和7年の利用者数は前年同月を毎月上回っている。

前年同月との比較

※前年同月と比較可能な1～5月を対象とする。

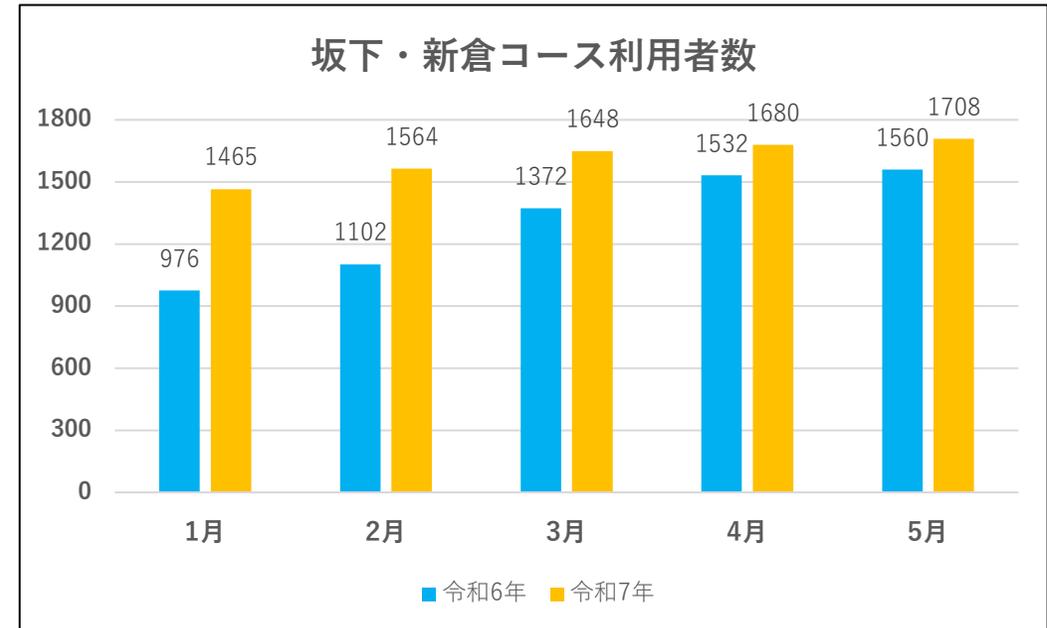
■ 白子・吹上コース

	令和6年	令和7年	前年度比
1月	1,560人	2,317人	48.5%増
2月	1,623人	2,202人	35.7%増
3月	2,084人	2,544人	22.1%増
4月	2,129人	2,466人	15.8%増
5月	2,294人	2,573人	12.2%増



■ 坂下・新倉コース

	令和6年	令和7年	前年度比
1月	976人	1,465人	50.1%増
2月	1,102人	1,564人	41.9%増
3月	1,372人	1,648人	20.1%増
4月	1,532人	1,680人	9.6%増
5月	1,560人	1,708人	9.5%増

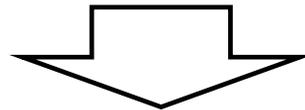


ここまでの運行実績の整理

- 運行見直し当初から利用者数は増加傾向となっている。
- 前年同月と比較できる期間においては、全ての月で利用者数は増加している。
- 各路線の利用者増加に伴い、運賃収入も増加している。

※運賃収入額比較

令和5年度	令和6年度	前年度比
9,239,874円	17,934,607円	94.1%増



- 白子・吹上コース及び坂下・新倉コースの利用状況は順調に推移している。
- しかし、両コースともに改善を要する課題が複数確認されている。

運行上の課題

運行上の課題については、令和6年度の地域公共交通会議においても整理された。当該会議にて挙げられた課題については下記のとおり。

■ 運行上の課題（令和6年度会議にて整理）

- ① 交通系ICカードの読み取りに手間がかかる。
- ② 車両の段差や車内の通路が狭く、シルバーカーの利用が不便
- ③ 坂下新倉コースにおいて、利用者が乗り切れない事案が発生
- ④ 運賃支払いに手間がかかる



令和6年度事業においてそれぞれの課題への対応策を検討、推進

運行上の課題

■ 運行上の課題等への対応状況

① 交通系ICカードの読み取りに手間がかかる

【対応状況】 ICカードリーダーの更新



ICカードの読み取り速度が上がり、運賃支払い時に要する時間や機器トラブル等が減少

② 車両の段差や車内の通路が狭く、シルバーカーの利用が不便

【対応状況】 小型バス車両（ポンチョ）を導入



ノンステップバスかつ車内の通路幅が広い車両であることから乗車時の負担が減少

運行上の課題

■ 運行上の課題等への対応状況

③ 坂下新倉コースにおいて、利用者が乗り切れない事案が発生

【対応状況】 車内残席数が1の段階で追加便の用意を依頼（運転手⇒営業所）



運転手と営業所の連携はできているが、現状でも乗車希望者を待たせる場合がある

④ 運賃の支払いに手間がかかる

【対応状況】 定額乗車券（フリーパス）の導入検討（議事2）



その都度支払いの不便性解消のため、定額乗車券の導入について事例調査や意見交換を実施

運行上の課題

■運行上の課題への対応状況

昨年度、確認された課題等については一定の改善はあったが、下記の事項については依然として課題生じている。

- I. 坂下新倉コースにおいて、利用者が乗り切れない事案が発生
- II. 運賃支払いに手間がかかる



本年度も引き続き、課題解決に向けた取組が必要といえる。

運行上の課題

- 新たに課題として認識された事項について
バス事業者へのヒアリング等をとおして、新たに下記の課題が確認された。

III. バス停間の所要時間の見直しを要する

白子・吹上コース、坂下・新倉コースともに、バス停間のダイヤに余りが生じてしまうため、バス停での時間調整が発生する箇所がある。

※時間調整が発生する区間の例

丸山台3丁目～白子コミセン 野川公園入口～白子吹上コミセン（白子・吹上コース）
新倉北地域センター～上谷津ふれあいの森（坂下・新倉コース） など

IV. 休憩場所への移動も考慮した運行

休憩時間を十分に確保するため、和光市役所への移動を考慮した運行時間及び路線の設定が必要

今後の対応方針

I. 坂下新倉コースにおいて、利用者が乗り切れない事例が発生

⇒現状の運行ダイヤに和光市駅南口から上谷津ふれあいの森への直通便を追加設定
（※上谷津ふれあいの森～和光市北原小学校入口の区間において満車となる傾向）

II. 運賃支払いに手間がかかる

⇒定額乗車券の導入検討（議題2）

III. バス停間の所要時間の見直しを要する

⇒白子・吹上コース、坂下・新倉コースのバス停間の所要時間を調整
⇒所要時間の調整に伴う、全体の運行ダイヤの微修正

IV. 休憩場所への移動も考慮した運行

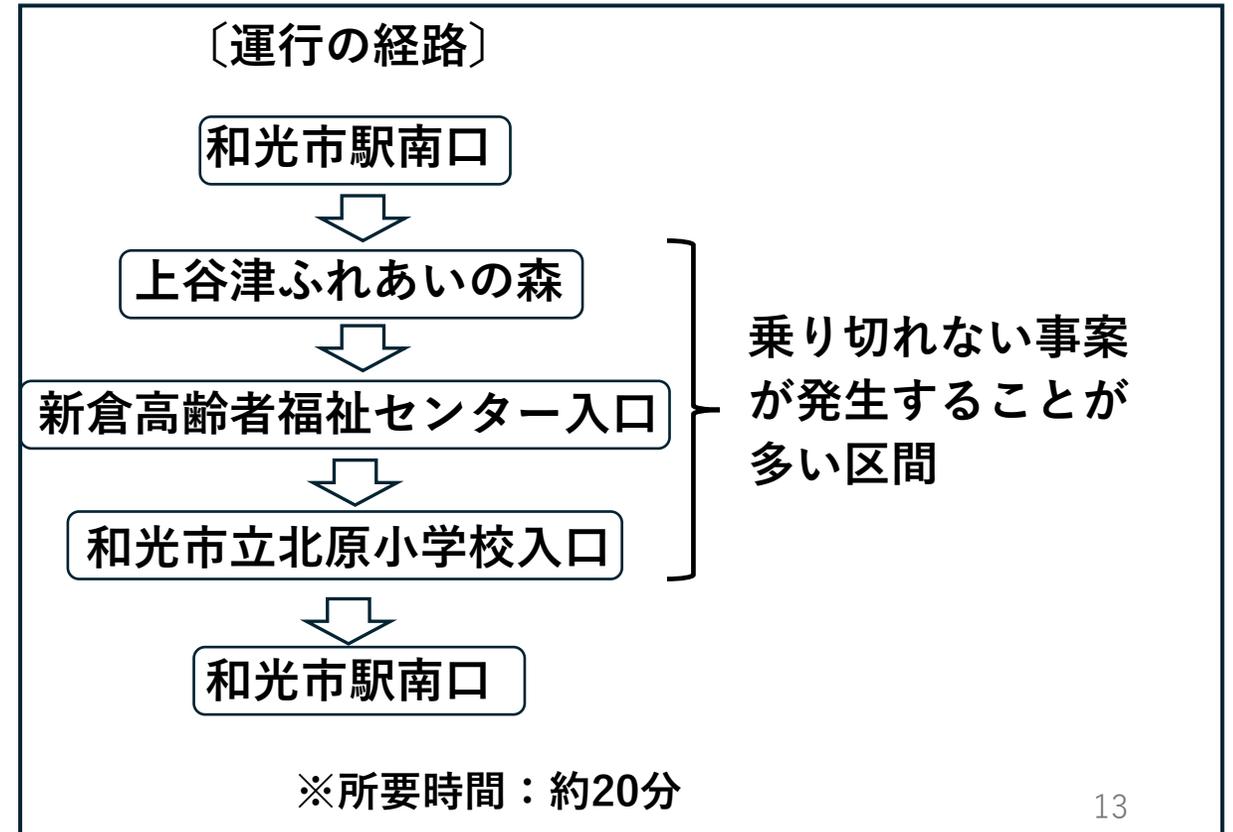
⇒白子・吹上コース、坂下・新倉コースの路線に和光市役所行きの設定

今後の対応方針

I. 坂下新倉コースにおいて、利用者が乗り切れない事案が発生

⇒現状の運行ダイヤに和光市駅南口から上谷津ふれあいの森への直通便を追加設定

※運行経路について詳細は下記のとおり（午前、午後各1便を追加）

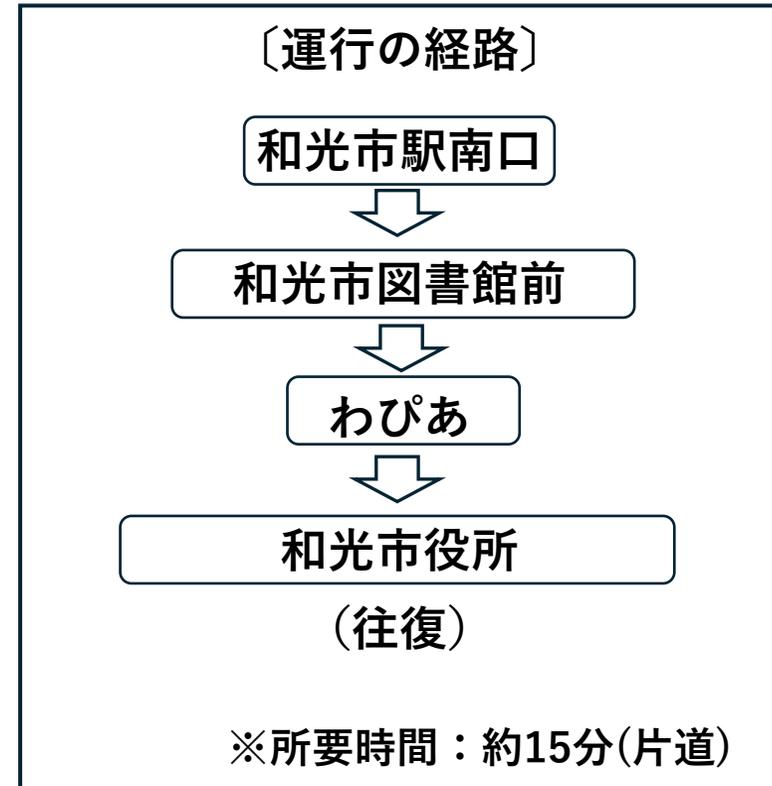


今後の対応方針

IV. 休憩場所への移動も考慮した運行

⇒白子・吹上コース、坂下・新倉コースの路線に和光市役所行きの便を設定

※運行経路について詳細は下記のとおり（午前、午後各1便を追加）



※和光市駅方面への運行はわびあ停車せず。

令和8年1月からの運行について

依然として運行上の課題が残ることを踏まえ、令和8年1月からの運行については、各課題の解決に向けた改善の取組を行っていく。

特に、この度の改善の取組においては、一部の運行路線やダイヤの見直しも含まれることから、継続的な効果測定が求められる。



和光輸送が運行する2路線において、道路運送法第21条に基づく、実証走行の継続を申請する。

今後のスケジュール案

- 和光市地域公共交通会議における検討・承認（当該会議）
- 埼玉運輸支局への継続申請（令和7年9月下旬）
- 3年目の運行開始（令和8年1月～）
- 本格運行に向けた運行概要の検討（路線、ダイヤ、車両等）
- 和光市地域公共交通会議における承認（令和8年8月頃）
- 埼玉運輸支局への申請（令和8年9月頃）



- (株)和光輸送による本格運行の開始へ（令和9年1月）